



— 日々のつぶやき Vol.12 2017.04.24 —

■順風こそが危険信号～忖度（そんたく）の功罪～

▶「忖度」である。言葉の意味自体「他人の心中をおしはかること」（広辞苑）とニュートラルだ。しかし、実際に使われる時は「力を持つ上の者の気持ちを取先行し、機嫌を損ねぬよう処理すること」といったニュアンスになろうか。（3月25日日本経済新聞春秋より）

▶人間関係を円滑に維持するための「日本人特有の美德」と言えば耳障りは良いのですが、その本質は迎合主義と自己保身でしかありません。成長の足枷は個々の認識が生み出しますが、それを促進するのが企業風土（集団論理）です。朱に交われれば赤くなる—当たり前の業務風景にも落とし穴は潜んでいます。